



特集

膵がんセンター 「膵がんドック」のご紹介

雨山の郷の桜(海草郡紀美野町)

CONTENTS

Topics

- 心房細動のパルスフィールドアブレーション
- 就任の挨拶(脳神経内科学講座・宮本教授)

Information

- 「外来薬物療法センター」及び薬物療法部門長のご紹介
- 病状が安定し終診となった患者さんへ
- 腫瘍内高乳酸によってヒストン修飾と免疫抑制を誘導する新たな経路の発見
- 市民公開講座「がん専門医療人と地域との連携における課題」開催報告
- ボランティア感謝状贈呈式

【理 念】

私たちは安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

【基本方針】

1. 患者さんとの信頼関係を大切に、十分な説明と理解に基づく同意を得て、安全な医療を行います。
2. 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
3. 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
4. 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲(はなおかせいしゅう)が全身麻酔薬として用いた植物「曼荼羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

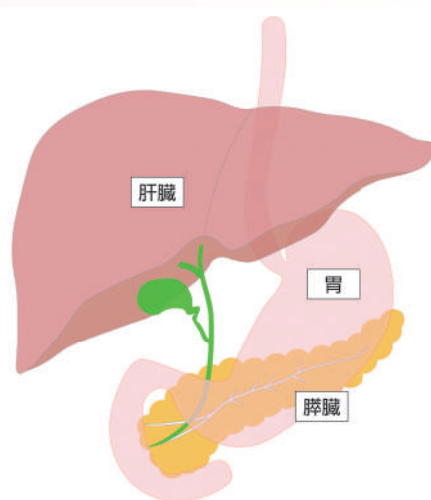
膵がんセンター 「膵がんドック」のご紹介

膵がんは初期の段階での発見が難しく、見つかった時には既に進行しているケースが非常に多いがんです。日本人の膵がん死亡数は近年、胃がんを抜いて第3位となっています。

当院膵がんセンターでは、膵がんの早期発見に特に力を入れており、2021年2月より膵がんドックを開設しています。

膵臓と膵がんについて

膵臓は胃の後ろにある長さ20cmほどの左右に細長い臓器で、食物の消化を助ける膵液の分泌と、血糖値の調節等を行うインスリン等のホルモンを分泌する役割があります。膵臓は体の奥まった所にあるため、がんが発生しても症状が出にくく、早期発見が難しいがんで、通常健康診断では中々見つかることができません。自覚症状が出てから発見した場合はがんが進行している場合が多く、特に治療が難しいがんと言われています。



膵がんドックの受診をお勧めする方

(1) 膵がんかどうか心配な方

- ・持続する腹痛や背部痛があるが、他院で問題ないと言われた
- ・小さな嚢胞はあるけど今後は検診でのフォローを勧められた

(2) 膵がんのリスクがある方

- ・血縁者に膵がんにかかった人がいる、毎日お酒を飲む、喫煙歴がある
- ・糖尿病、肥満傾向(BMI30以上)、体重減少



当院の膵がんドックの特徴

① 快適な検査

控え室(個室)を準備していますので、ゆったりと検査を受けていただけます。



② 充実のチーム医療

検査及び結果の検討は膵がんセンターの専門家がチームで行います。検査結果は、約2~3週間後に郵送もしくは専門医外来で説明させていただきます。

③ 検査後も安心

万が一、病気の疑いがあった場合は、当院での精密検査や治療を受けていただくことができます。

